

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成30年4月17日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立第一小学校 第6学年，全児童

実施児童数（ 50 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少なく、中位層、下位層が多い。

平均正答率（本校 63／泉佐野市 67／大阪府 68／全国 70.7）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少なく、中位層、下位層が多い。

平均正答率（本校 43／泉佐野市 51／大阪府 52／全国 54.7）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】 ○相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことに課題がある。 1 図書館への行き方の説明として適切なものを選択する (78.0/90.8) 【読むこと】 ○登場人物の心情について、情景描写を基に捕らえることについては理解している。 4 『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する (82.0/74.0)	【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○文の中における主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書くことに課題がある。 5 【春休みの出来事の一部】の中で、……部と……部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す (18.0/35.5) ○相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに課題がある。 7 【話を聞いている様子の一部】の「ア」・「イ」に入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する (54.0/56.0) ○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。 8 (エ) <u>かん</u>理 (42.0/65.0) (オ) <u>せつ</u>極的 (40.0/51.4)

国語B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】【書くこと】 ○話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題がある。 1 三 これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小川さんのいずれかの意見を取り上げ口を書く (22. 0/33. 8) 【書くこと】 ○目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考え、書くことに課題がある。 2 一 「かみかみあえ」についての【おすすめ文章】の最初の部分に「 」のように書いた理由として適切なものを選択する (34. 0/54. 6)	【読むこと】 ○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ自分の考えを明確にしながら読むことに課題がある。 3 二 【伝記「湯川秀樹」の一部】を読んで、【ノートの一部】㉔ 最も心がひかれた一文とその理由の文章の口に入る内容を書く (30. 0/52. 3)

○文の中における主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書くことや、自分の言葉で表現する力に課題がある。

○目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書くことに課題がある。

○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことに課題がある。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層がやや少なく、中位層、下位層が多い。

平均正答率（本校 59／泉佐野市 62／大阪府 63／全国 63.5）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少なく、中位層、下位層が多い。

平均正答率（本校 42／泉佐野市 48／大阪府 51／全国 51.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
【数と計算】 ○除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している。 1（1）針金 0.2mの重さと針金 0.1mの重さを書く (78.0/62.9) ○十進位取り記数法で表された数の大小について理解している。 3 三桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く (74.0/76.4) 【量と測定】 ○単位量あたりの大きさを求める除法の式と商の意味の理解にやや課題があるが、角度の大きさについては理解している。 4（2）二つのシートの混み具合を比べる式の意味について正しいものを選ぶ (60.0/50.1) 5（2）分度器の目盛りを読み、180度よりも大きい角の大きさを求める (64.0/58.5)	【図形】 ○直径の長さと円周の長さの関係の理解について課題がある。 7（2）円の直径が2倍になったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ (48.0/55.6) 【数量関係】 ○百分率を求めることについてはほぼ理解しているが、折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることに課題がある。 8 200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ (56.0/52.9) 9 示された事柄が両方にあてはまるグラフを選ぶ (50.0/63.6)

算数B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と計算】【量と測定】【数量関係】 ○示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることに課題がある。 2（１）全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何分かを書く (58.0/70.5) 【数量関係】 ○棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することに課題がある。 3（２）一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ (20.0/23.9)	【図形】 ○合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見出すことに課題がある。 1（１）合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見出すことができる図形として正しいものを選ぶ (60.0/71.7) 【量と測定】【数量関係】 ○折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述することに課題がある。 5（１）横の長さが7 mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば足りるわけを書く (34.0/43.2)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	66.0	64.0		2.0
算数の勉強は大切だと思いますか	92.0	92.1		0.1
算数の授業の内容はよく分かりますか	86.0	83.4		3.4
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	64.0	74.3	○	10.3
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	74.0	78.4		4.4
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	58.0	64.4	◇	6.4
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.0	90.3		4.3
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	72.0	78.5	◇	6.5
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	78.0	80.4		2.4
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	86.0	85.8		0.2
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	64.0	70.6	◇	6.6

○「算数の授業内容がよく分かる」と感じている割合が昨年とほぼ同じで、全国を上回っている。

(H29:88.4)

○「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と思っている児童の割合は、昨年度よりも増加し、全国を上回った。

(H29:78.3)

○「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」との児童の割合は、わずかなではあるが昨年度を上回り、全国を上回った。

(H29:85.5)

○「今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」の設問に、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」の割合がやや低下し、全国よりも低下した。

(H29:68.1)

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層がやや少なく、中位層が多い。

平均正答率（本校 51／泉佐野市 57／大阪府 57／全国 60.3）

主として「知識」に関する問題（本校 74／泉佐野市 77／大阪府 75／全国 78.0）

主として「活用」に関する問題（本校 46／泉佐野市 53／大阪府 53／全国 56.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

理科「知識」「活用」	特徴がみられた設問
【生命】 ○安全に留意し、生物を愛護する態度を持って、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる。 1（1）野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ (84.0/82.1) ○骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念の理解について課題がある。 1（3）腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く (66.0/79.4) 【地球】 ○堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。 2（1）流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ (90.0/83.6) ○より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察することに課題がある。 2（4）上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側の水位の変化から、上流側の天気と下流側水位の関係について言えることを選ぶ (44.0/59.8)	【エネルギー】 ○太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的にあったものづくりに適用できることに課題がある。 3（4）目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせた箱の中での光電池の適切な位置や向きを選ぶ (30.0/41.9) 【物質】 ○ろ過の適切な操作方法を身につけることにやや課題がある。 4（1）ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気付き、適切に操作する方法を選ぶ (66.0/71.1) ○物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用することに課題がある。 4（3）食塩水を溶かしたときの全体の重さを選ぶ (46.0/42.7)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	80.0	83.5		3.5
理科の勉強は大切だと思いますか	86.0	85.4		0.6
理科の授業の内容はよく分かりますか	88.0	89.4		1.4
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	90.0	87.0		3.0
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	54.0	64.7	○	10.7
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	74.0	72.9		1.1
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	22.0	26.1		4.1
理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	54.0	54.5		0.5
観察や実験を行うことは好きですか	84.0	89.8	◇	5.8
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	88.0	75.2	○	12.8
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	86.0	81.8		4.2
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	66.0	68.1		2.1
5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思いましたか	82.0	87.5	◇	5.5
調査問題の解答時間は十分でしたか	88.0	90.1		2.1

○「理科の勉強は大切だと思う」児童の割合や、「理科の授業の内容はよく分かる」児童の割合および「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある」児童の割合が高い。

○「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」や「理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したり」することについて肯定的に回答している児童の割合が低い。

○「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」児童の割合が高く、国よりも10ポイント以上高い。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない）

また, それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で, 特徴的な項目を列挙した。さらに, 下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	○規則正しい生活リズムはできている。	○朝食を毎日たべている。 (94.0/94.5) ○毎日, 同じくらいの時刻に寝て, 同じくらいの時刻に起きている。 寝 (72.0/77.0) 起 (84.0/88.8)
	○地域の行事への参加率が低い。	○家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする。 (76.0/80.5)
【家庭学習の様子】	○家庭での学習の時間が短い。	○今住んでいる地域の行事に参加していますか。 (40.0/62.7)
	○学校での授業以外に, 普段（月曜日から金曜日）, 1日当たりどれくらいの時間, 勉強しますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含みます。） 1時間以上の割合	○学校の授業以外に, 普段（月曜日から金曜日）, 1日当たりどれくらいの時間, 勉強しますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含みます。） 1時間以上の割合 (50.0/66.2)
	○家で, 学校の授業の予習・復習をしている。	○家で, 学校の授業の予習・復習をしている。 (50.0/62.6)
【学校での学習の様子】	○学校の授業以外にする読書の時間が短い	○学校で, 学校の授業の予習・復習をしている。 (50.0/62.6)
	○話し合う活動では自分の考えを深めることができる。	○普段（月曜日から金曜日）, 1日あたりどれくらいの時間, 読書をしますか。（教科書や参考書, 漫画や雑誌は除く）30分以上の割合 (32.0/41.1)
【学校での学習の様子】	○話し合う活動では自分の考えを深めることができる。	○学級の友達との間で話し合う活動を通じて, 自分の考えを深めたり, 広げたりすることができている。 (74.0/77.7)

本校の取組

◎これまでの取組み

これまでの全国学力・学習状況調査の結果から見えてきた本校児童の学力実態を踏まえ、「心豊かな子どもの育成をはかり、確かな学力向上に努める」を教育目標として、研究授業の実施を含めた校内研修会を計画的に行い、授業改善を図っている。

授業改善の取組みについては、校内研究委員会において協議し、以下の取組みをすすめている。

- ①「泉佐野スタンダード～泉佐野市の学力向上に向けて～」を参考にして、学習の準備や学習規律を統一して指導するため、「一小スタンダード」を決め、安心して学べる環境づくりに努めている。
- ②メロディーチャイム（チャイムが鳴るまでの校歌のメロディーを流すこと）も３年目になり、チャイム着席が定着してきたことにより、学習に取り組む姿勢が確立されてきた。
- ③３～６年生の算数科において、少人数習熟度別指導を行い、一人ひとりの習熟度に応じたきめ細かな指導で、基礎・基本の定着を図るとともに、活用力を高める取組みをすすめている。
- ④ノート指導においては、図や式を用いた説明、自分の言葉で考え方を書き、振り返りができるノートづくりをすすめ、工夫しているノートを全体にも紹介している。
- ⑤スキルアッププリントでの繰り返し学習や計算大会を行う中で、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、達成感が持てるよう努めている。
- ⑥「話し方、聞き方」や「発表の仕方」について教室掲示し、話すこと、聞くことについて統一した指導を行い、共感的に受けとめることを大切にしている。
- ⑦相互参観や公開授業参観を積極的に行い、指導力向上に努めている。

また、一小校区福祉委員会や地域の方のご協力をいただき、田植え・稲刈り体験、芋苗植え・芋掘り体験や昔遊び体験等のさまざまな体験活動に取り組む中で、「自分にはよいところがある。」と回答した児童が 82.0%（全国 84.0%）、「人の役に立つ人間になりたいと思う。」と回答した児童が 94.0%（全国 95.2%）で、全国の平均より若干下回っているが、昨年度よりそれぞれ 6.6%、5.6%増加しており、取組みの成果も表れている。

◎これからの取組み

○基礎的・基本的な知識、技能を身につける。

○ノート指導を通して授業づくりを行い、共感的に受け止めようとすることを大切にした学級づくりをめざす。

・具体的な取組みとして

（ア）さらに基礎的・基本的な知識や技能を身につけさせる。

①復習プリントの活用

・算数において、４月、７月、２月に前年度の学年の算数学力調査を実施する。その結果を踏まえ、前学年に学習した内容を宿題や日々の課題として継続的に取り組ませることで、基礎基本の定着を図る。

②毎週金曜日の宿題に「ことばの力」プリントを出し、書く力や語彙力の向上に努めている。

③自学プリントの活用

・自分の学習の実態に応じたプリントを選択し、土曜授業や授業の合間、休み時間などに取り組む。

④１００マス計算の取り組み

・これまでどおり木曜日を１００マスの日として、全学年１００マス計算に取り組むことを続ける。

（イ）ノート指導を通じた授業づくり、共感的に受け止めようとすることを大切にした学級づくりをめざす。

- ・「めあて」「問題」「自分の考え」「友達の考え」「まとめ」「練習」「ふりかえり」の流れに沿った授業に取り組むことで、授業の効率化を図り、思考力を育てる。
- ・共感的に受け止めようとすることを大切にした学級づくり。
- ・「話し方」「聞き方」「発表の仕方」の教室掲示。
- ・ソーシャルスキルワーク授業の実践。

(ウ) その他

- ①相互参観週間を設け、互いの授業を参観することで教師の授業力向上に努める。
 - ・他校の公開授業を積極的に参観し、他校の実践に学ぶ。
 - ・学級経営や実技の研修会（ミニ研修会）を開き、教職員の実践力を高める。

②朝の学習

月曜日：読書タイム

火・水・金曜日：英語活動

金曜日：100マス計算